

# 行政視察報告

総務建設委員会



## 岐阜県 飛騨市

10月3日飛騨市役所にて、飛騨市空家等対策について、担当者から順次実例を交えて説明を受けた。



過疎が進む自治体の1つとして、現実の問題を誠実に受け止め、早くから飛騨市全体の課題に行政、市民が一体となって取り組んでこられた成果であると感じ取れた。空家対策を一括りにするのではなく、細かく分析をし対策されている。市内に現存する空家数を把握し、まずは増やさない対策をされ、窓口を設け所有者になりえる市民に寄り添った細かな対応をされている。

## 岐阜県 高山市

10月4日高山市役所にて、「高山駅周辺のあゆみ」を基に担当者より説明を受けた。次に、JR高山駅にて東西口駅前広場と橋上駅舎及び自由通路の説明を受けた。



▲JR高山駅

JR高山駅の「自由通路新設及び橋上駅舎化事業」と「東西口駅前広場整備事業」が議会において全員一致で可決された事業で、反対運動も起こらず市民も待ち望んでいた事業であった。駅は、市の玄関であるとの考えで、来訪者が街への期待を膨らませると同時に、良い印象を持ってもらう重要な空間と考えている。また、市民からは鉄道による東西の分断が自由通路で解消されたこと、東西に

厚生文教委員会



## 福岡県 宗像市

10月6日福岡県宗像市にて、行政視察を行った。

独自で子どもの権利を保障するために制定された子ども基本条例と、この子ども基本条例に基づく公的第三者機関である、子どもの権利相談室「ハッピークローバー」を視察し、子どもとの相談窓口として、子ども本人からの相談、保護者等関係者からの子どもの権利に関する相談を受け付けている様子を伺った。

また、議会も今後特別委員会の設置も視野に入れていくべきではとの意見もあった。宗像市子ども基本条例の制定により、市の子ども子育て施策に係る基本的な理念ができ、子ども施策を



▲飛騨市内の空き家



▲JR高山駅自由通路



▲ハッピークローバー視察の様子



多角的、重層的に検討、実施ができるという点で、有効な施策であると感じた。「ハッピークローバー」については、子どもの最善の利益を目的に活動するために、他の機関と独立した第三者機関であることが特徴だった。子どもが相談しやすいような環境を作るために、顔を見せながら広報をしているため、96・9%と、とても高い子どもからの認知度が得られていた。宗像市では、ここ10年重大事に発展したようなケースがないことから、相談機関が機能していれば防げる重大事案もあるかもしれないと考え、未然に防ぐためにも大人の責任として、子どもたちが相談しやすい環境を作ること、身近に時間をかけずに相談できる場所を提供することは必要であると感じた。

10月臨時会、12月定例会のあらまし

委員会レポート

行政視察報告

広報編集特別委員会取材・議案等の賛否状況一覧

一般質問

おしらせ